

大正四年六月十二日午後一時より本校講堂に於て第三十回學術談話會技藝部會を開く

講演順序

- | | | |
|----------------------|----|-------|
| 一、倉橋惣三先生の御話 | 技三 | 佐藤ふじ |
| 一、元祿時代の繪畫に現はれたる衣服の模様 | 技四 | 池内よしえ |
| 一、感想の一節 | 技四 | 神保うめ |
| 一、防水布につきて | 技四 | 大高すい |
| 一、私共の生活 | 技二 | 犬飼小春 |
| 一、糊につきて | 技二 | 小方道 |
| 一、編物に就きて | 技四 | 倉田島 |
| 一、いちごに就て | | |

倉橋先生よりはかねて兒童心理學の一般に渡りて御講演を承りしが先生には誰も知るが如く斯道につきては其の御研究極めて深く其の内容の充實せる御講演は常に吾等に感興を興へる事少からざりし

されば折あらば先生の此有益なる面白き御話を拜聴したきものとは吾人の宿望なりしなり今回この會の開かるゝに當り早速御願致せしところ御多忙中にもかゝらず御來臨され一時間餘りに渡りて心理的方面より經濟的疲勞につき御説明もらすところなくいつもながら面白く有益に拜聴したり

會員の研究問題も眞面目にしてしかも興味ありて多方面に渡りたるはこの會の一段の進歩を見る可し講演事項の比較的多く且つ校長先生を始め主任部長の諸先生御都合のため御缺席ありたるに拘らずよく會の秩序をたもち進行亦敏速にして意外の盛會なりしは深く喜ぶところなり

本年度役員の變動左の如し

部長 神田教授
委員

編輯係 福澤さかえ(四年) 杉本ふみ(四年)
庶務課 池内よしえ(四年) 鶴見ひさえ(三年)
會計係 横山エイ(四年)

本年度新入會員

家事科一部一年

稻葉ひで	服部しん	石塚かをる	堀江 榮
堀口俊子	道祖尾りん	齋藤とみ	和田とみえ
和田富貴	横幕みね	武田その	田中ひさの
臼井さと	塚本とく	内田トハ	前川久江
松崎八十	松尾カツ	松浦千代	海老澤悦
雨宮端穂	雨森卷子	酒井うた	木下樂代
宮原ハルエ	島崎千代野	鹽澤ノブ	廣田よし
平原さと	森川きく		

家事科二部一年

今井静子	針生ちよ	石川よしえ	土肥ふみ
大塚はつ	小川たか	加藤ヤス	加藤つね
増淵きん	藤巻とも	近藤和子	青木千代
菊池千歳	杉生 静		

臨時教員養成所第一部

石井ミサホ	飯島トヨ	原 ヒサ	原田ちる
花澤千代	鳥毛はつる	殿河内ミツ	戸倉ハル
及川うめ	大隈タカ	河野サキ	鎌田よし
横川しげみ	爲田いそ	成田たみ	松山えい
藤井リノ	海老沼ハマ	佐藤三千代	緑 いま
平川キヨ			

臨時教員養成所第三部

市島キミ	岩倉トリ	井畔イク	西田八千代
千倉はな	大村ちかじ	小川春江	尾崎貞子
加藤かう	加藤キイ	河島初子	高橋キヨ
田所文	中村ノブ	黒田利子	山本キス
山岡花代	増田岩恵	藤井 愛	藤原カウ
小松サト	佐川エイ	花澤ふるじ	宮本トミ
宮岡直代	宮城オトミ	守屋スガ	鈴木キス
杉澤ちか			

會費領收

(自大正四年一月至大正四年十二月)

一金六拾錢	大正四年度分	田中かつ
一金六拾錢	全	船本みつ
一金六拾錢	全	石原清恵
一金六拾錢	全	岡田みつ
一金六拾錢	全	石川榮
一金六拾錢	全	大橋やん
一金六拾錢	全	堀江歌子
一金六拾錢	全	鬼塚トミエ
一金六拾錢	全	廣田龜代
一金六拾錢	全	山本熊尾
一金六拾錢	全	小谷たき
一金六拾錢	全	大門賀壽
一金六拾錢	全	菅原としよ
一金六拾錢	全	加藤けい

一金六拾錢	全	中田富恵
一金參圓六拾錢	自明治四二年度至大正三年度	水野やす
一金六拾錢	大正四年度分	伊藤クラ
一金參圓	自大正二年度至全六年度 外二四拾錢餘り	滿田愛子
一金參圓六拾錢	自明治四四年度至大正五年度	木谷ひ玄
一金壹圓貳拾錢	自大正二年度至全大正三年度	吉岡まさ
一金貳圓四拾錢	自全大正四年度至全大正五年度	榊ふよ
一金壹圓八拾錢	自全大正三年度至全大正四年度	鈴木トミ
一金壹圓八拾錢	自全大正三年度至全大正四年度	寺師ふさえ
一金壹圓八拾錢	自全大正四年度至全大正五年度	松見君
一金六拾錢	大正四年度	御館田鶴

會計報告

(自大正四年一月至大正四年三月)

收入ノ部

繰越高

一五七、二四〇

會員會費
利子

八七、四〇〇

三、四四〇

二四八、〇八〇

合計

支出ノ部

第八號雜誌印刷費(五〇〇部)

一二一、一五〇

雜誌發送費

七、四八〇

澤村先生へ謝禮

四、二〇〇

雜費

、〇九〇

合計

一三二、九二〇

差引殘金四年度繰越高

一一五、一六〇

會員の皆様へ

會計係りより

本會會計整理上必要有之候間本年度及之迄に滞りし會費を母校附屬高等女學校内伊藤くら氏宛に
早速御送附相成度候

猶皆様御轉任其他により御轉住遊ばされ候折は早速當方へ御一報煩はし度會報發送に差支ふる
こと有之候に付右御願申上候

大正四年十二月十一日印刷

(非賣品)

大正四年十二月十五日發行

發行所 東京女子高等師範學校内

學術談話會技藝科部

編輯兼發行所 全所

伊藤くら

東京市京橋區新富町一丁目六番地

印刷者 久保忠

印刷所 全所

明正印刷株式會社

電話京橋二九百九番
二九百六番